

Ⅱ 病院報告

1 患者数

(1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

令和5年中における全国の病院の1日平均在院患者数は1,123,654人で、前年に比べ0.2%減少している。

このうち、「精神科病院」は201,759人で、前年に比べ1.4%減少し、「一般病院」は921,894人で、前年に比べ0.1%増加している。

一般病院の1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は59,418人、「療養病床」は231,536人、「一般病床」は626,938人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は3,814人となっている。

また、1日平均新入院患者数は42,699人、1日平均退院患者数は42,658人となっている。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の1日平均在院患者数は2,046人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は381人となっている。（表1、図1、統計表1）

表1 1日平均在院・新入院・退院患者数

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数		
	令和5年 (2023)	令和4年 (2022)	対前年 増減率	令和5年 (2023)	令和4年 (2022)	対前年 増減率	令和5年 (2023)	令和4年 (2022)	対前年 増減率
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
病 院									
総 数	1 123 654	1 125 743	△ 0.2	42 699	41 155	3.8	42 658	41 203	3.5
精 神 科 病 院	201 759	204 635	△ 1.4	685	660	3.8	688	677	1.6
一 般 病 院	921 894	921 109	0.1	42 013	40 495	3.7	41 970	40 526	3.6
精 神 病 床	59 418	60 985	△ 2.6	302	290	4.1	310	305	1.6
感 染 症 病 床	2 986	10 636	△ 71.9	240	1 122	△ 78.6	221	949	△ 76.7
結 核 病 床	1 017	1 062	△ 4.2	25	25	0.0	23	23	0.0
療 養 病 床	231 536	236 911	△ 2.3	1 282	1 200	6.8	1 829	1 772	3.2
一 般 病 床	626 938	611 515	2.5	40 164	37 858	6.1	39 587	37 477	5.6
(再掲)									
介 護 療 養 病 床 ²⁾	3 814	6 375	△ 40.2	6	11	△ 45.5	11	19	△ 42.1
療養病床を有する診療所									
療 養 病 床	2 046	2 579	△ 20.7	13	19	△ 31.6	20	25	△ 20.0
(再掲)									
介 護 療 養 病 床 ²⁾	381	659	△ 42.2	2	5	△ 60.0	3	6	△ 50.0

注：1) 月途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

2) 介護療養病床は療養病床の再掲である。

(2) 病院の1日平均外来患者数

病院の1日平均外来患者数は1,233,703人で、前年に比べ1.9%減少している。

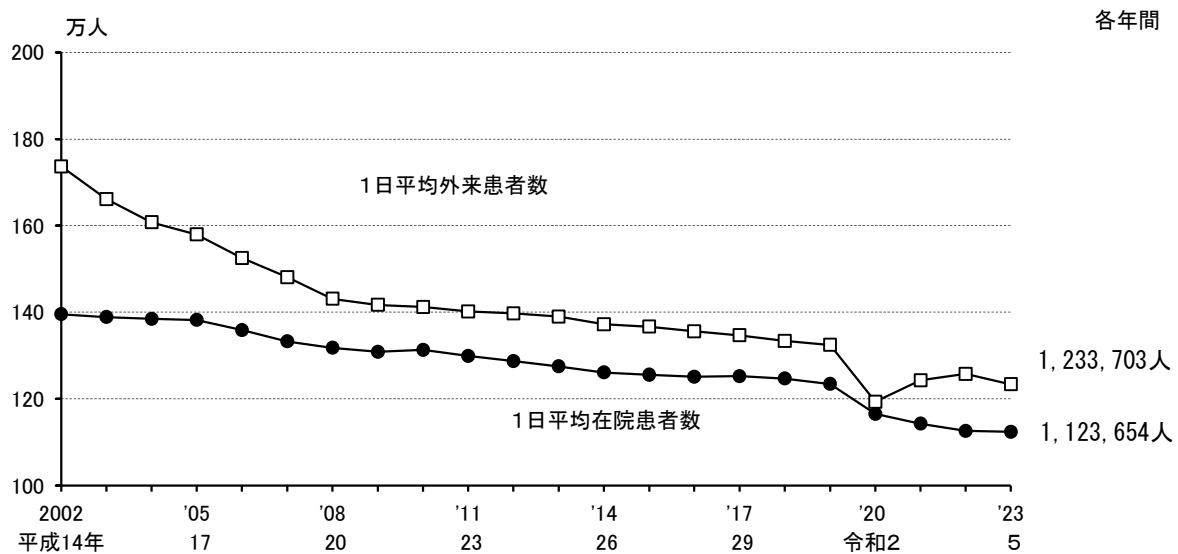
このうち、「精神科病院」は56,791人で、前年に比べ0.2%減少し、「一般病院」は1,176,911人で、前年に比べ2.0%減少している。(表2、図1、統計表1)

表2 病院の1日平均外来患者数

	1日平均外来患者数		対前年 増減率
	令和5年 (2023)	令和4年 (2022)	
病 院	人	人	%
総 数	1 233 703	1 257 558	△ 1.9
精 神 科 病 院	56 791	56 897	△ 0.2
一 般 病 院	1 176 911	1 200 660	△ 2.0

注：月途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

図1 病院の1日平均患者数の年次推移



- 注：1) 東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設（岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設）は、報告のあった患者数のみ集計した。
- 2) 熊本地震の影響により、平成28年4月分の報告において、熊本県の病院1施設（阿蘇医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。
- 3) 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。
- 4) 令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設（球磨医療圏）は、報告のあった患者数のみ集計した。

2 病床利用率

病院の病床利用率は75.6%で、前年に比べ0.3ポイント上昇している。

病床の種類別にみると、「精神病床」は81.6%で前年に比べ0.7ポイント低下している。「療養病床」は84.1%で前年に比べ0.6ポイント低下している。「一般病床」は70.8%で前年に比べ1.8ポイント上昇している。「介護療養病床」は75.8%で前年に比べ4.6ポイント低下している。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」の病床利用率は41.5%で、「介護療養病床」は51.2%となっている。（表3、統計表2）

表3 病床の種類別にみた病床利用率

	病床利用率		各年間
	令和5年 (2023)	令和4年 (2022)	対前年 増減
病 院	%	%	
全病床	75.6	75.3	0.3
精神病床	81.6	82.3	△ 0.7
感染症病床	160.8	571.2	△ 410.4
結核病床	26.8	27.4	△ 0.6
療養病床	84.1	84.7	△ 0.6
一般病床	70.8	69.0	1.8
介護療養病床	75.8	80.4	△ 4.6
療養病床を有する診療所			
療養病床	41.5	45.7	△ 4.2
介護療養病床	51.2	57.8	△ 6.6

注：在院患者数は許可（指定）病床数にかかわらず、毎日24時現在に在院している患者数をいう。
このため、感染症病床の在院患者数には、緊急的な対応として一般病床等に在院する者を含むことから病床利用率は100%を上回ることがある。

3 平均在院日数

病院の平均在院日数は26.3日で、前年に比べ1.0日短くなっている。

病床の種類別にみると、「精神病床」は263.2日で前年に比べ13.5日短くなっている。「療養病床」は119.6日で前年に比べ6.9日短くなっている。「一般病床」は15.7日で前年に比べ0.5日短くなっている。「介護療養病床」は295.7日で、前年に比べ12.1日短くなっている。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」は97.4日で、「介護療養病床」は136.4日となっている。

（表4、統計表2）

表4 病床の種類別にみた平均在院日数

(単位:日)	平均在院日数		各年間
	令和5年 (2023)	令和4年 (2022)	対前年 増減数
病 院			
全病床	26.3	27.3	△ 1.0
精神病床	263.2	276.7	△ 13.5
感染症病床	13.3	10.5	2.8
結核病床	42.1	44.5	△ 2.4
療養病床	119.6	126.5	△ 6.9
一般病床	15.7	16.2	△ 0.5
介護療養病床	295.7	307.8	△ 12.1
介護療養病床を除く全病床	26.2	27.2	△ 1.0
療養病床を有する診療所			
療養病床	97.4	94.4	3.0
介護療養病床	136.4	109.6	26.8

注：平均在院日数の計算式は5頁を参照。